

2 サタデーセミナー

2. 1 チームがひとつになるには～2010ワールドカップでの経験を通して～(保健体育分野)

(1) 研究開発の課題(研究概要)

サッカーワールドカップ日本代表チームに40日間帯同した経験を踏まえた講義を通して、スポーツ場面のみに限らず実生活において、チームワークを発揮することができるようにする。

(2) 研究開発の経緯

三重大学教授である杉田正明先生に講師を依頼し、チームがひとつになるために、選手やスタッフが持つべき意識や行うべき行動を踏まえて、チームワークについて講演をしていただいた。

(3) 研究開発の内容

ア 仮説(ねらい、目標)

本事業はコミュニケーション能力や協調性・リーダー性などの「総合人間力」を高めることができる。

イ 研究の内容・方法

該当教科 保健体育

対象生徒 1、2年生の希望者 120名

日時場所 12月10日(土)本校 視聴覚室

実施内容

講演

演題 「チームがひとつになるには
～2010ワールドカップでの経験を通して～」

講師 三重大学 教授 杉田 正明 先生

内容 セルフケアの重要性

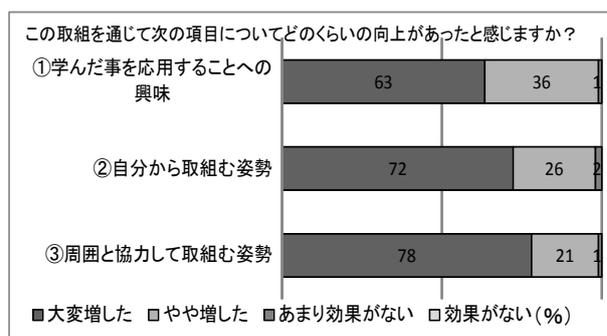
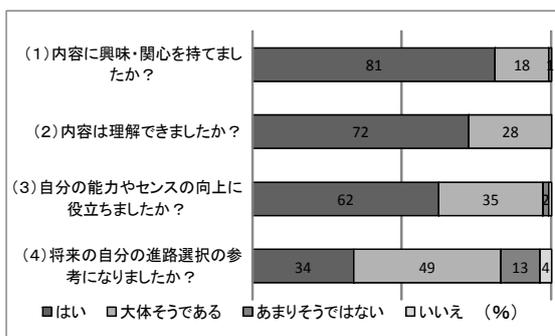
成功する人としらない人の条件

チームワークとは何か、どのようにして生まれるのか



講義の様子

ウ 検証(成果と反省)



生徒の感想から

- ・支える人の偉大さを感じた。
- ・目標について、もっと言葉に表すようにしたいと思った。
- ・成功しない人から成功する人になるために努力しようと思った。

今回の杉田先生の講義は、生徒のアンケート結果や感想からも大変有意義な内容であったことがよくわかる。スポーツ以外の場面でも必要とされる能力を多く学んだので、生徒の今後の成長につながると思う。また、選手を支えるスタッフのあり方も講義で多く取り上げられており、今後の指導に生かしていきたい。